

新美南吉記念館だより

新美南吉生誕 100 年まで 2 年 7 か月

発行 新美南吉記念館 〒 475-0966 愛知県半田市岩滑西町 1-10-1 TEL0569(26)4888 <http://www.nankichi.gr.jp>



▲ 第 22 回 新美南吉童話賞表彰式 (平成 22 年 12 月 11 日)

第二十二回 新美南吉童話賞入賞作品発表

最優秀賞は中学生の部 浅井ひなのさん(愛知県半田市)

十二月十一日(土)、第二十二回新美南吉童話賞入賞者の表彰式がおこなわれました。
最優秀賞を受賞したのは、地元半田市の中学三年生浅井ひなのさん。作品は「帰り道」でした。

「**帰**り道」の主人公芽衣は、歩き慣れた

いるはずの道を一本外れただけで迷子になってしまいました。迷子になった自分

への腹立たしさや家に帰れない心細さを感じながら、

初めて見る公園や神社、喫茶店などに、今まで知らな

かった町の顔を見た気がする芽衣。狭く感じて抜け出した

したいと思っていた町への気持ちも変わっていきます。

誰もが一度は経験したことがありそうな出来事。思わずストーリーに引き込まれます。

浅井さんは、昨年「窓」という作品で中学生の部優秀賞を受賞しており、二年連続の入賞でした。二十二

回を数える新美南吉童話賞の中で、中学生の部での最優秀賞受賞は初めてのこと

と。半田市から最優秀賞が出たのも初めてです。

そのほかの入賞者は次のとおりです。

〔一般の部〕

優秀賞 〈市長賞〉

『がんばれ、タスカル!』

森本ひさえ (千葉県船橋市)

特別賞

〈ミツカン賞〉

『一つの願い』

草野昭子 (福岡県糟屋郡)

〈知多信用金庫賞〉

『まほうの窓』

稲垣房子 (神奈川県横浜市)

〈中部電力株式会社賞〉

『ホクロプラネタリウム』

木村和子 (埼玉県春日部市)

佳作

『風の落とし物』

佐野由美子 (三重県鈴鹿市)

〔中学生の部〕

優秀賞

〈社団法人半田青年会議所賞

『雨』

澤田耕輔 (愛知県常滑市)

特別賞〈新美南吉顕彰会賞

『エレベーターの向日葵』

松本 彩 (神奈川県川崎市)

佳作

『狐の学校』

山口朱音 (愛知県名古屋市中)

『あるオオカミのおはなし』

吉元樹広(福岡県北九州市)

【小学生高学年の部】

優秀賞へこんぎつねの会賞

『お天気の様様』

筒井健太(愛知県半田市)

佳作

『パパとわたしのポロ学校』

榊原すずか(愛知県半田市)

『ピアノのようせい』

杉浦友香(愛知県岡崎市)

『せいなちゃんともぐ』

石川まこ(愛知県半田市)

【小学生低学年の部】

優秀賞〈中日新聞社賞〉

『池のカメと川のカメ』

石川司(愛知県安城市)

佳作

『カブリンとの夏の思い出』

加藤真彩(愛知県半田市)

おめでとうございました。(敬称略)



最優秀賞の浅井さん(右写真)にお話を伺いました。

—表彰式が終わりましたが感想は？

—こんな賞をもらっていいのかなあという感じですが。友だちはみんな、すごいねって言ってくれました。

—童話を書き始めたのは？
—小学生の低学年の時からです。でも書きかけのものばかりで完成したものはあまりないんです(笑)。

—それはどんな作品ですか(しばらく考えてから)フアンタジー系のものでしたかな。

—きっかけは？
—子どもの頃から本が好きで、おじいちゃんが買ってくれる本を読むうちに自分でも書いてみたいと思うようになりまして。

—書くときに気をつけていることは？
—分かりやすく、読む人に情景を思い浮かべてもらえるように書いています。

—今後どんな童話を書いてみたいですか？
—一つの物事を、いろいろな立場の人たちの視点で描いてみたいと思っています。

—将来の夢は？
—小説家になることです。ありがとうございます。

カウントダウンスタート!
1000回前祭開催

これまで新美南吉生誕百年に向けて、記念事業の内容や実行組織の構成についての検討を重ねてきた新美南吉生誕百年記念事業検討委員会は、昨年十一月一日を以って、同記念事業実行委員会(委員長・新美勝彦)に移行しました。

その二日後、南吉百歳の誕生日、平成二十五年七月三十日から数えて千日前に当たる十一月三日には「新美南吉百歳千日前祭」を開催し、カウントダウンボードの除幕式(左写真)を始めさまざまなイベントを行いました。詳しくは、『新美南吉生誕百年通信』で紹介します。



朗読と南吉の愛したクラシック音楽

昨年、十二月十九日(日)、半田市市民交流センター・ホールで「朗読と南吉の愛したクラシック音楽」を開催しました。会場には百十名が集まりました。



—サアが朗読を担当(上写真・右から我妻絵美さん、前田麻衣子さん、高橋重憲さん)、作品ごとに声色を使い分け、詩の世界を表現されていました。

—また詩に合わせ、シューベルトやショパンなど、南吉が好きだった作曲家の曲も演奏されました。演奏は毎回のように参加してくださっているトリオ・o・p・ブランチ(左写真・右から石川ひとみさん、山本直人さん、矢口十詩子さん)。最後はアンコールにも応え、大きな拍手が贈られました。



今

—回は南吉の詩を取りあげました。第一部では、クリスマスが近いこともあり、(無題)「われは中村屋にきて」や「神」等、クリスマスや神を詠った作品を、第二部では、昨年十月、名古屋で開催されたCOP10にちなみ、「鶏」「金魚」など南吉が愛した小動物を詠った作品が朗読されました。前回に続き、中京テレビの協力で同局のアナウン

●案内看板を寄贈●



南吉のことがもつと分かる
岩滑西町にある青葉野営場
で、南吉の童話「嘘」にも
登場する西午ヶ池うまが池の西側。
体長約六十センチの成獣に
なる前の若いメスでした。
現場は、地元ボーイスカ
ウトの半田第一団が、里山
の中で活動できる場をつく
ろうと整備していた所で、
知多信用金庫の社会貢献事
業「夢サポート」の支援も
受け、竹やぶの伐採や井戸
掘りなどを子ども達と進め
ていました。

童話「ごんぎつね」に描
かれた「旧墓地」、南吉の
初恋の女性が嫁いだ「遠藤
家」、南吉の子守をした「は
やみちやの実家」…。
昨年十一月、岩滑に南吉
ゆかりの場所を紹介する案
内看板（右写真）が設置さ
れました。（社）半田青年
会議所が岩滑区に贈った三
枚と「童話の村 秋まつり
実行委員会」が設置した二
枚です。

南吉文学に興味を持ち、
岩滑を訪れる人も増えてき
ました。これらの案内看板
は、今後、大いに役立つて
くれることと思います。

南吉のふるさとに
キツネが帰ってきた

昨年十二月一日（水）、
半田市内でキツネが捕まり



ました。場所は当館と同じ
岩滑西町にある青葉野営場
で、南吉の童話「嘘」にも
登場する西午ヶ池うまが池の西側。
体長約六十センチの成獣に
なる前の若いメスでした。
現場は、地元ボーイスカ
ウトの半田第一団が、里山
の中で活動できる場をつく
ろうと整備していた所で、
知多信用金庫の社会貢献事
業「夢サポート」の支援も
受け、竹やぶの伐採や井戸
掘りなどを子ども達と進め
ていました。
キツネ（左写真）は、付
近に野犬が出没するため、
愛知県動物保護管理セン
ターに依頼して仕掛けても
らっていた檻にかかったも
ので、間もなく逃がされま
した。童話の中の生き物だっ
たキツネが身近な存在にな
る日も近いかもしれません。

●記念館からのお知らせ●
1月〜3月

南吉生誕百年プレ事業

「角笛」シルエット劇場

東京を拠点に、全国で公
演をしている影絵劇団「角
笛」が『ごんぎつね』を上
演します。

日時 3月21日（祝・月）

13時30分 開場

14時00分 開演

※終演予定 15時40分

会場 雁宿ホール※名鉄

知多半田駅から徒歩3分

対象 どなたでも

プログラム

「おぼけリンゴ」

「つのぶえのうた」

「ごんぎつね」

チケット料金

大人 1000円

中学生以下 500円

※全席自由

※3歳未満は席が必要ない

場合は無料

チケット販売

1月29日（土）から、以
下の施設で販売します。

・新美南吉記念館

・雁宿ホール

・半田市立博物館

・半田市立図書館

・亀崎図書館

・半田市民交流センター

・半田市青年の家

・半田市役所学校教育課

※事前に完売した場合、当
日券はありません。

うたとお話の会

毎月第4日曜日の午後、
図書室でうたとお話の会を
行っています。

場所 記念館図書室

時間 13時30分〜14時

出演 左近治樹さん
小野敬子さん

展示室ガイド

ガイドボランティアが常
設展示室をご案内します。

実施日 毎週土曜日の午後

と、日曜日および祝日、
振替休日の午前と午後。

ガイドが待機している時間

午前 10時30分〜12時30分

午後 13時30分〜15時30分

※申込み不要。ガイドでき
ない日もあります。

新美南吉研究会

毎月1作ずつ南吉の作品
を読んでいます。南吉文学
に興味のある方ならごなた
でも、随時入会できます。

場所 記念館会議室

時間 14時〜16時

●これからの予定

1月 お休みです

2月27日（日）

「ごん狐」／「権狐」

※以上の事業・行事へのお
問い合わせ、お申込みは新
美南吉記念館まで。

TEL 0569（26）4888

日誌抄

十月（神無月）

▽1日 半田市立乙川小学
校で出前授業行う▽3日

第3回「童話の村秋まつ
り」終了。期間中来場者

数132500人▽同日

半田市民憲章ふれあい

ウォーキング開催。95人來

館▽同日 ミニ展示「皇后

美智子様と南吉」終了▽9

日 観察会「ごんぎつねの

森で秋探し」開催。12人參

加▽16日 第22回新美南吉

童話賞第一次審査会▽16

日、17日 COP10関連イ

ベント参加。於愛・地球博

記念公園▽19日 半田市在

住榊原保夫さんより竹とん

ぼ50個寄贈される▽24日

第90回新美南吉研究会。11

人参加▽31日 展示ガイド

第 24 回 新美南吉顕彰講演会

演題：南吉童話の声、南吉童話の場所

毎年、著名な文学者や南吉研究者を招いて開催される新美南吉顕彰講演会。今回は、日本児童文学研究者である宮川健郎氏をお招きしてお話いただきます。

- と き／平成 23 年 1 月 30 日（日）
14：00～16：00
- ところ／雁宿ホール講堂（半田市福祉文化会館）
- 入場料／無 料
- 申込み／不 要 ※整理券も必要ありません
- 問い合わせ／新美南吉顕彰会事務局
（新美南吉記念館内 Tel 0569 - 26 - 4888）
- 主 催／新美南吉顕彰会・半田市教育委員会

※駐車場が狭いため、雁宿ホール北の雁宿駐車場（有料）か公共交通機関をご利用ください。

※会場は、名鉄河和線知多半田駅西口から徒歩 3 分です。

講 師
みやかわたけ お
宮川健郎氏
プロフィール

【略 歴】

昭和 30 年東京都生まれ。立教大学大学院修了。現在、武蔵野大学文学部教授。日本児童文学専攻。J B B Y（日本国際児童図書評議会）副会長。

【主な著書】

- ・『国語教育と現代児童文学のあいだ』（日本書籍）
- ・『現代児童文学の語るもの』（NHK ブックス）
- ・『宮沢賢治、めまいの練習帳』（久山社）
- ・『子どもの本のはるなつあきふゆ』（岩崎書店）
など多数

ポランティア例会▽10月特別展「帰ってきたごんぎつね」知多の自然と南吉文学」開催
十一月（霜月）

▽1日 新美南吉生誕百年記念事業実行委員会設立総会。於半田市役所▽3日 新美南吉百歳1000日前祭。534人参加▽同日

南吉童話イメージキャラクタ―募集開始▽同日特別展「帰ってきたごんぎつね」知多の自然と南吉文学」終了。期間中

28514人来場▽5日第22回新美南吉童話賞最終審査▽9日 北村好子氏より、南吉作品が掲載された『カシコイニ年小学生』（精文館）など雑誌4冊が寄贈

される▽21日 新美南吉文学講座第1回。8人参加▽27日 鶴飼文氏より南吉が作った陶製カップなどが寄贈される▽28日 新美南吉文学講座第2回。13人参加

❄️冬の夜に輝くツリー❄️
昨年12月4日（土）、記念館の駐車場入口にペットボトルタワーが設置されました。半田商工会議所青年部主催によるもので、高さ

約8mの骨組みに2400本のペットボトルが吊り下げられています。ペットボトルは一般家庭から集めたもので、子ども達によって絵が描かれています。4日には点灯式とイベントが行われ、大勢の人たちで賑わいました（左写真）。

1月8日（土）まで、毎日午後5時から10時まで点灯されます。期間終了後は使用したペットボトルはリサイクルに回され、キャップは海外の子どもへワケチンを届ける事業に寄付されるそうです。



（2月の休館日）

7日（月）、8日（火）、14日（月）、21日（月）、28日（月）

（3月の休館日）

7日（月）、8日（火）、14日（月）、22日（火）、28日（月）

※21日（月）は祝日のため開館いたします。